

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 白野江 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・「体育の学習が楽しい」「体育の授業に進んで参加している」と肯定的に答えた児童の割合は、男女とも全国より上回っていた。 ・体育の授業で、友達と助け合ったり教えあったりすること、ICTを活用すること、振り返りをするなどで「できたり、わかったり」することができたと答えた児童の割合は、男女とも全国より上回っていた。一方、目標を意識して学習することで「できたり、わかったり」することができたという質問に対し、女子で否定的に答えた児童がいた。 ・毎日8時間以上寝ている児童の割合は、男子は全国より上回っていたが、女子は全国と同程度であった。また、朝食を毎日食べている割合は、男子は全国より上回っていたが、女子は全国より低かった。テレビ、スマートフォン、パソコンなどの画面を1時間以上見ている児童の割合は男女とも全国より上回っていた。基本的な生活習慣が身に付いていない児童がいた。 ・保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気を付けて生活を送ることができていないと答えた児童がいた。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

・児童が進んで体育の学習に参加できるように、目標やねらいを意識し、友達と教え合いながら学習し、その過程をきちんと振り返る体育学習を引き続き行っていく。その際、どの子も学習が進むように個別の対応も行っていく。 ・体育科の学習に於いてもICTを活用することで、児童が自分達で課題を見つけ、解決していけるようにしていき、より効果的に「できたり、わかったり」できるようにしていく。 ・生活習慣を見直していくために「歯と口の学習」から「食育の学習」へとつなげていき、自らの健康課題や生活習慣の課題を見出し、改善策を考え実践していく児童を育ていく。
--

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

・全学年が体力づくりを行う白野江らんらんタイムを引き続き行っていく。内容は、健康委員会が中心となって考え、ランニングだけでなく白野江ダンスづくりなど、体力づくりができる活動を行い、体力アップを図る。
